

# 川東の里だより

No.108

2020  
10



むぎわら  
裕  
美

今年は新型コロナ  
ウイルスで収穫祭  
が中止で、とても  
残念でした。  
むぎわらで作った  
野菜をみんなと食  
べたかったのに…  
美味しい野菜を、  
みんなに食べても  
らえるように頑張  
ります。

## ウイズコロナ時代の施設運営について ～クラスターとなつた障害者施設の報告書を拝見して想うこと



社会福祉法人 川東の里

参事皆川和雄

新型コロナウイルスの感染症について、道内第一号の患者が令和二年一月二十七日に発生し、北見市内でも令和二年二月二十四日第一号が発生、その後道内でのクラスターとなつて、どこか実感のない報道等のニュースでなく、自分も？家族も？とのある種の恐怖を伴つた実感として感じられたところで、その後、施設としても様々な感染防止対策を利用者、保護者などの関係者の皆様とともににとらせていただき、当法人の関係者から感染者を出さずに、現在に至つており、利用者保護者、職員皆様のご協力、ご努力に改めて、心から感謝申し上げるとともに、今後長引くであろうウイズコロナ時代の対応について、引き続きご協力をお願い申し上げるものであります。

先日、令和二年七月に道内初の新型コロナウイルス感染症の障害者支援施設のクラスターとなつた施設長より、新型コロナウイルスの感染から終息に至るまでの対応、経過報告書を頂きました。（報告書は固有名詞等の記載もあり、当該施設への風評被害の恐れも

ありますことから公表は差し控えさせていただいております。）その内容を、可能な限りご紹介させていただくと、・感染者が出ても、施設利用を続けなければならぬ利用者をお預かりする入所支援施設であること、・重症化しやすい障がい、リスク（感染対策をとれない障がいを含め）をもつていることが多い利用者をお預かりしていること、

・障がいを有している方々への日々の想いや使命感から体力的にも精神的にも辛い支援を受けた職員のこと、・施設内はもちろん、施設外への感染拡大を防止しなければならないこと、・北海道、遠軽町、保健所、各病院などの関係機関の指導や関係機関の横断的現地対策班の設置などの支援を抜きなどがあつたこと、

には対応できなかつたこと、職員であれ、感染者を絶対に出せない、出せば利用者、職員、保護者に多大なご負担をお願いしなければならなくなるとの思いを強

く抱かれる内容がありました。

当該の障害者支援施設は、令和二年四月二十二日新型コロナウイルス感染者発生以来新聞による町民向け終息広告まで約二か月に及ぶ感染者対応期間、感染者十一名、全員完治という成績をあげ、終息し、国においては入所施設で発生した場合の新型コロナウイルス感染対策の成功例として報告されているとのことでありました。しかしながら反面、障害者入所施設においては、いつたん感染者が発生すると、全員の成功事例であつても、定員五十名の入所施設で利用者を含む関係者の一部程度の感染者、終息までの期間が最低でも2か月はかかるという意味では、重ねてではありますが、改めて感染者を出さない、出してはいけないとの思いを強くし、報告書を拝見させていたしました。

当法人では、これまで法人内に新型コロナウイルス感染症対策会議を設置し、その前段の運営会議での議論も含め17回の検討を重ね、日々刻々と変わる地域の感染状況や国・道の感染対策の変化に対応するとともに利用者や保護者、職員とともに感染者を出さないことを最大の目標として、様々なご協力やご努力をお願いしてまいりました。本報告を拝見し、改めて感染者を出さない、出してはいけない思いと、職員には、ウイズコロナ時代の感染者を出さない新しい新しい支援の工夫について、施設とともに模索し、新たな支援策を構築することに期待をさせていただくものです。ウイズコロナ時代、利用者の期待に応える障がい者支援施設を職員とともに目指したいと私は心

まで、施設運営も感染者を出さないためリスクを最小限にと、例えば、行事についても、対策がとれないものについては中止を余儀なくされたところもあります。もちろんウイズコロナ時代においても、対策をとれない行事については、実施できないことは、いつたん感染者を出せば、今回の施設の報告書を拝見するまでもなく、やむを得ないことに存じますが、感染者を出さないことを前提にいかにできる行な事がウイズコロナ時代の施設運営との想いをいたしております。しかしながら実現は、現場職員の知恵なくしては構築できないものもありますし、時間も必要であります。職員は、日々の障がい者支援に非常によく頑張つております。こうした中、障害者施設という感染症を持ち込めない施設で働いているものとして、本人はもちろんのこと、その家族にまで高い感染予防意識を持つて協力をして頂いており、これまで感染者を出さないという結果に、重ねてとなりますが施設としては、心より感謝しております。感染者が発生した障害者施設での、職員の悲壮なまゝの想いとその戦いに想いをはせると、職員には、ウイズコロナ時代の感染者を出さない新しい新しい支援の工夫について、施設とともに模索し、新たな支援策を構築することに期待をさせていただくものです。ウイズコロナ時代、利用者の期待に応える障がい者支援施設を職員とともに目指したいと私は心より願つております。

## 川東学園支援課長として

川東学園支援課長 前 多 智 哉

今年度、十一年間勤めた友楽里・風楽支援課（就職支援担当）より、川東学園へ異動となりました。川東学園での勤務は十八年振りであり、初心に帰る想いと支援課長としての重責を強く感じているところです。川東学園は、私が入職して初めて配属された事業所です。当時は、あおぞら班と生活係を担当し、エアロビクス（プールで行うアクアアビクス）に通つたり、夜間外出に出掛けたりと利用者様と楽しく過ごさせていたいたことが思い出されます。

この半年間は、慣れない課長業務を覚えながら、生活班を中心に班活動への参加や棟での生活支援、早番・遅番・夜勤務に従事するなど、毎日、新鮮な気持ちで業務に向き合い、あつという間に過ぎて行きました。

その中で、現在の川東学園を取り巻く現状と整理や改善を要するポイントが少しずつ見えてきたように思います。

その中でも、利用者様の「高齢化」と「支援ニーズの多様化」が、大きなポイントとして挙げられます。平均年齢は五十二歳であり、利用者の現状と合わなくなってきた施設設備や備品は、速やかな改修・整備の必要性が高まっています。併せて、利用者様お一人お一人に適した支援を提供するため、各スタッフの力と

連携をより拡充すると共に、支援内容の更なる充実に繋げられる支援体制の再構築の必要性を感じています。

また、この障がい福祉分野は、制度の変化も著しいですが、時代の変化に伴う「支援に対する考え方・捉え方の変化」と医学の進歩に伴う「支援方法・支援技術の更新」などもあり、利用者様のニーズの多様化に対応すべく、常にアンテナを張り、スタッフ一同で研鑽に努めていく必要があります。川東学園は、諸先輩方が築いてこられた長い歴史のある事業所です。その歴史・風土と新たな支援方法・支援技術との融合により、時代やニーズに対応する、新たな入所施設の在り方をスタッフと共に模索し、形にしていくことも私の使命であると考えています。

川東学園のスタッフは、フットワークが軽く、新たな取り組みに臆さずチャレンジする前向きな方ばかりであります。そのような各スタッフが力をより発揮しやすい環境を整備する事も私の仕事の大きなウエイトを占めています。

川東学園に配属され、皆さんと食事を共にし、時の流れと共に利用者さんの年齢は増し、団魂の世代と云われるベテラン職員が次々と定年退職され、急速な変化に戸惑いや不安もありましたが、周りの職員、そして利用者の笑顔に支えられ、今の私があると感謝しています。

十数年務めた川東学園よりこの度、誰もが新しい事に対しても最初は抵抗感をもつものです。この変化を成長のプロセスとポジティブに捉え、少し固まつた思考に新たな職場で良い刺激を受けております。

## 支援課長に着任して

友楽里・風楽里支援課長 岡 村 裕

四月より橋本厚子さんの後任として友楽里・風楽里支援課長に着任しました岡村 裕です。

私は川東の里に就職した平成十八年は、支援費制度から自立支援法へと移り変わり、法人としても新たに事業所を開設するなど節目の年でした。

入職初日の事はとても印象に残っています。その年の十月 早朝よりバスに揺られ、何をするのかも解らず、向かつた先は緋牛内事業所でした。『レストランじねん』のお披露目イベントと『生産ファーム』の同時開催となつた、あの場所が私の福祉人生の始まりです。

川東学園に配属され、皆さんと寝食を共にし、時の流れと共に利用者さんの年齢は増し、団魂の世代と云われるベテラン職員が次々と定年退職され、急速な変化に戸惑いや不安もありましたが、周りの職員、そして利用者の笑顔に支えられ、今の私があると感謝しています。

十数年務めた川東学園よりこの度、誰もが新しい事に対しても最初は抵抗感をもつものです。この変化を成長のプロセスとポジティブに捉え、少し固まつた思考に新たな職場で良い刺激を受けております。

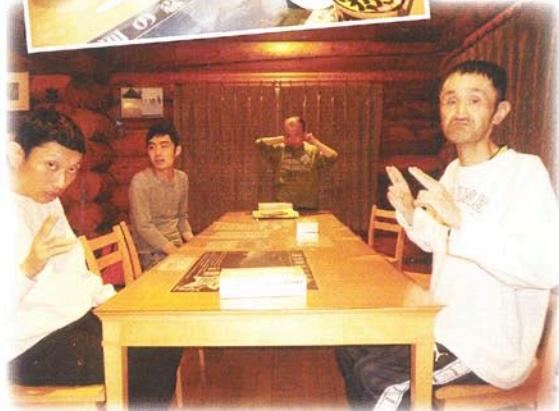




## お好み旅行

きたみ学園では9月1・2日と一泊お好み旅行に行ってきました。陸別のコテージで夜はカレーを食べ、足寄の道の駅でおやつを買って食べました。数少ない行事を楽しんでいます。

### きたみ学園



9月1日毎年恒例の縁日を行いました！ 今年度は、毎年恒例のあそぼっとの皆さんに来て頂く事は出来ませんでしたが、通所部、全面協力のもと、美味しい縁日メニューを食べたり、おやつ釣りゲームをして、1人ひとり希望した景品を貰ったりと楽しい時間を過ごしました！！

### 川東学園



### 縁日メニュー

配食センターより～ 塩焼きそば・ポテトサラダ・  
冷やしお汁粉・とうきび・スイカ  
(むぎわらや就労班で作った野菜を沢山入れて作って貰いました)

フレンズより～ フランクフルト  
風楽里より～ おからのパウンドケーキ



## JungleGym外出! トランポリンパーク



コロナウィルスの影響で行事や余暇活動ができない現状の中、風楽里で貸し切りJungleGymで余暇・体力作りをしてきました。設備ではトランポリン・ボルダリング・スラックライン等があり初めて体験するものが多く皆さん跳んだり・登ったりと汗を流しながら楽しむ過ごしていました。皆さんからは「また行きたい」と声が上がっていました。



風楽里

## すたーと 旅行♪

今年は新型コロナウィルスの影響でいろいろな行事が中止となりましたが、利用者の皆さんから強い要望があり、貸し切りで対応していただける佐呂間の悠林館に行ってきました。久しぶりの大きな行事でとても楽しみにされており、出発前からソワソワする方も。すき焼きや旬の野菜を食べお風呂で足を伸ばし、お土産をたくさん買う事もできました。残念ながら感染症対策でカラオケは出来ませんでしたが、bingo大会で景品をもらえ、笑顔の多い旅行となりました。



## フレンズパンの新商品

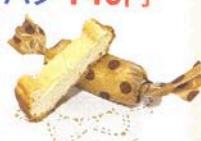


チャーシューと玉ねぎを、マヨネーズと合わせて作りました。  
フレンズとのコラボ商品です。  
是非ご賞味ください！

ごろっとチャーシューパン 140円

塩味が効いたクラッカーの上にクリームチーズ生地をたっぷりのせて焼き上げました。手軽に食べられるスティック状です！

ベイクドチーズ 100円



## 「地域生活支援拠点 併設 日中サービス支援型グループホーム」

南大通りに面した朝日町48番地195に国・道の補助事業として、令和2年6月10日に着工いたしました。構造は木造一部2階建て・延べ床面積993.735m<sup>2</sup>の建築物です。

完成は令和3年3月15日予定となっており、10月1日時点で工事の進捗状況は計画通り、順調に推移しております。完成となり次第、16名の利用者の引越しを順次実施します。

また、一部外構工事等は残りますが、来春4月には開所の運びになっております。



## 皆様からのたくさんのご厚情ありがとうございました



金正治様より新米の北見産おぼろづきをいただきました

北見トヨペツ株式会社  
代表取締役  
村上 幸江 様  
ボテト 五条 薬局  
金 正治 様 様 様



応援メッセージいただきました

イトーヨーカドー労働組合  
(寄付金)

北見支部  
様

新型コロナウイルスの感染状況は、いまだ楽観視出来るものではなく日常にはまだ遠い状況ではあります。が、十分に気をつけ利用者の皆様の安全を確保しながらお客様の思いを伝えるお力を注ぎたいと考えております。

十月中旬よりフレンズお歳暮ギフトセットのご注文受付を開始致します。

みんな、「コロナ鬱」「コロナ疲れ」大丈夫ですか。

コロナ疲れのもど、それは我慢や不安です。そしてこの我慢や不安がストレスと言われるものです。私たちは今、我慢や不安な毎日を過ごしてとてもストレスフルになっています。だからしんどく当たり前なんです。

溜まったストレスをうまく解消しましょう。

副交感神経をアップする時間を持つ事が大切です。ストレスで上

### 医務からひひと言

がつてしまつた交感神経を下げる、副交感神経を上げる、つまり車がアクセルを踏んだ状態からブレーキに切り替える時間を持つことです。ランニングだったり、ストレッチだつたり、ゆっくり深呼吸でもいいんです。タッチング（人に触れたり、触ってもらったり）も幸せホルモン（オキシトシン）が出ると言われています。そして好きなこと、楽しいことをしましよう。HAPPYを感じると副交感神経がアップします。

川東学園医務 田中 里映

## 年末お歳暮ギフト始まります

フレンズでは感染防止のルールが定着し、八月のお中元時より落ち着いた状況で十二月のお歳暮ギフトセットの製造に臨めそうです。沢山のご注文を心よりお待ちしております。



新型コロナウイルスの影響により数々の行事が中止となるなか、利用者の皆さんのがストレスのないよう規模を縮小しながらもドライブ、会食会などを行つてきました。活動の前後には手洗いや消毒を徹底し、感染症予防対策に講じてきました。幸いなことに、川東の里的利用者の皆さん、職員ともどもコロナウイルスの感染・症状なく、今日まで活動することが出来ました。ですが、まだまだ予断の許されない状況のは変わりありません。だんだんと気温も下がつてしまつた季節になつていきましたが、冬にはコロナウイルスだけではなく、インフルエンザにも気をつけていかなければなりません。急激な気温の変化に体調も崩されることもありますので、利用者の体調管理に努めていきたいと思います。

今後も私たちも不要不急の外出等は避け、利用者の皆さんができる限り笑顔で活動や生活を送れるように支援させていただきたいと思っています。保護者の皆様もご健康にはくれぐれもお気を付けください。

菅野 康祐

編集後記

（退職）百瀬 真由美  
（採用）田中 里映  
菊地 未桂

退職・採用職員紹介